

用語解説

アルファベット

BOD

生物化学的酸素要求量（Biochemical Oxygen Demand）の略で、河川の水質汚濁の指標として用いられます。水を汚している有機物を微生物（好気性バクテリア）が酸化分解するときに必要なとする酸素量で、有機物の量を表した値です。また、微生物の代わりに化学物質の酸化剤を用いて測定するCOD（Chemical Oxygen Demand）も、水質汚濁の指標として使用されることがあります。

CNG

圧縮天然ガス(Compressed Natural Gas)の略で、天然ガスを圧縮したものをいいます。

CO（一酸化炭素）

重油がガソリンなど炭素を含む化合物が不完全燃焼したときに発生する無色、無臭の気体で、工場・事業場や大気中に排出されますが、都内では自動車に起因しています。

COD

化学的酸素要求量（Chemical Oxygen Demand）の略で、水質汚濁の指標であり、水中の有機物に酸化剤を加えて反応させ、消費した酸化剤の量を酸素の量に換算した値です。

dB（デシベル）

デシベルは、2つの量の比の常用対数表示の10倍で表わされ、情報論理など理学・工学で広く使われている。騒音においては、音圧比やパワー比等に広く用いられている単位です。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している分子状酸素をいい、空気中から溶け込むものが大部分であるが、その量は水温の上昇とともに減少します。

HC（炭化水素）

炭素と水素を含む有機化合物の総称で、自動車や石油製品、有機溶剤を取り扱う事業場などから排出されます。窒素酸化物とともに光化学スモッグの主因物質として考えられています。

ISO14001

平成8年9月に国際標準化機構（ISO）によって制定された環境マネジメントシステムに関する国際規格のことで、環境マネジメントシステムの構築と運用を求める国際規格のことで、

LPG

液化石油ガス（Liquefied Petroleum Gas）の略で、一般的には、「プロパンガス」と呼ばれています。

NGO/NPO

非政府組織 (NonGovernmental Organization) / 非営利組織 (NonProfit Organization) の略です。NGOは、政府間の協定によらずに創立された、民間の国際協力機構のことです。NPOは、政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のことです。

NO_x (窒素酸化物)

燃料などが高温で燃焼するときに発生する一酸化窒素 (NO) と大気中でNOが酸化してできる二酸化窒素 (NO₂) が代表的であり、炭化水素とともに光化学スモッグの主因物質と考えられています。

O_x (光化学オキシダント)

大気中の窒素酸化物や炭素水素が、太陽光線によって複雑な光化学反応を起こしてつくられるオゾン等の酸化性物質の総称です。光化学オキシダントによる大気汚染は光化学スモッグといわれ、目がチカチカするといった人体的影響のほか、植物の葉の組織を破壊するといった影響が指摘されています。

pH (水素イオン濃度)

水の酸性、アルカリ性を示す指標となるもので、0から14の間の数値で表現され、pH7が中性、7から小さくなるほど酸性が強く、7を超えるほどアルカリ性が強くなります。

ppm

濃度や含有率を示す時に用いる容積比や重量比を表す単位で、100万分の1を1ppmといいます。

SO₂ (二酸化硫黄)

石炭や石油などに含まれている硫黄分が燃焼することによって発生します。また、火山活動によっても発生します。ぜんそくや気管支炎等の病気の原因や酸性雨の原因の1つとも考えられています。

SPM (浮遊粒子状物質)

浮遊粒子状物質のことで、大気中の粒子状物質のうち、粒径10μm以下のものをいいます。工場等の事業活動や自動車の走行に伴い発生するほか、風による巻き上げ等の自然現象によるものもあります。

SS (浮遊物質)

水中に浮遊して、溶解しない物質の総称で、水の汚濁の状態を示す指標の1つです。

μg

1gの1,000分の1が1mgで、1mgの1,000分の1がμgです。

ア 行

アスベスト

天然に産出する繊維状鉱物で、化学薬品に強く、耐熱性や電気絶縁性が高いため、建築材料や自動車のクラッチ板などに使用されていますが、微細な繊維として大気中に飛散したアスベストは、一度吸入すると対外に排出されにくく、長期間の吸入により肺ガンの原因となります。

アドプト制度

地元企業や住民等が、地元の道路や川のような公共施設を自分たちで定期的に清掃活動を行うアメリカ生まれのボランティア制度です。

市では、町会・自治会、市民グループ、学校、企業が、道路や公園などの公共施設の清掃、除草などを行う、公共施設アドプト制度を制定しています。

雨水浸透ます

雨水を地下に浸透しやすくする施設のことです。底面に碎石を充填し、集水した雨水をその底面から地中に浸透させる「ます」のことです。

衛生害虫

人体に衛生上の害を与える昆虫のことで、病原体を媒介する媒介昆虫、病原体の媒介はしませんが吸血や刺咬などによって人体に直接的被害を与える有害昆虫、人に不快感を与える不快害虫の大きく3つに分けられます。

エコセメント事業

ごみの焼却灰や下水汚泥などをセメント原料として再利用する事業のことをいいます。

エコミュージアム

地域全体を1つの博物館と考え、そのなかの自然や文化遺産などをそのまま保存・展示し、それらを地域の自然や文化にふれたり学ぶことができる体験施設や地域活性化の場として活用しようという概念のことです。

温室効果ガス

太陽光線によって暖められた地表面から放射される赤外線を吸収して大気を暖め、一部の熱を再放射して地表面の温度を高める効果をもつガスをいいます。

温室効果ガスには二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、フロンガス等があります。

カ 行

合併処理浄化槽

沈澱分離や微生物の作用等によって、し尿及び生活雑排水（厨房排水、洗濯排水等）を一緒に処理し放流する施設のことです。また、し尿のみを処理する施設のことを単独処理浄化槽といいます。

環境マネジメントシステム

企業・組織が自主的・継続的に環境への負荷を低減させることを目的とし、環境保全の方針や目標を定め、これを実行し、その結果を点検して方針等を見直すという一連の管理のしくみのことをいいます。

夾雑物

下水に混入しているトイレトーパー等の固形物のことをいいます。

グリーン調達

国や地方公共団体が製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、リサイクル製品やエコ製品等の環境に配慮した製品を率先して購入することです。

サ行

サイクルロード

自転車利用者が楽しく安全に、サイクリングを楽しめるようにつくられた道路です。そのため、原則として自動車の通行は禁止されていますので、道路交通騒音、排気ガスなどによる環境への影響がなく人と自然にやさしい道路です。

里山

人里の近くにあり、従来、林産物栽培、有機肥料、薪や炭の生産等のために利用されていた、人と関わりの深い森林のことで、近年、住民に身近な自然として評価されてきています。

焼却残渣

ごみ焼却施設から焼却後に出る焼却灰、飛灰の総称のことです。

水質汚濁防止法に基づく特定事業場

水質汚濁防止法に基づき定められた特定施設を設置している工場または事業場のことです。特定施設とは、人の健康や生活環境に影響を及ぼすおそれのある汚水または廃液を排出する施設のことです。

生物多様性

多くの生物やその生物が生息する環境が、健全な状態で保全されており、「遺伝子」「種」「生態系」の各レベルで多様な生物が共存していることです。

騒音規制法・振動規制法に基づく特定施設

工場または事業場に設置される施設のうち、金属加工機械などの著しい騒音・振動を発生する施設であって、政令で定められているものをいいます。特定施設を設置する場合には、市町村に届出をすることが義務づけられています。

騒音規制法・振動規制法に基づく特定建設作業

建設工事として行われる作業のうち、くい打機などの著しい騒音・振動を発生する作業であって、政令で定められているものをいいます。特定建設作業を行う場合には、騒音規制法・振動規制法に基づく特定施設と同様に市町村に届出をしなければなりません。

タ行

ダイオキシン類

ごみの焼却などにより非意図的に生成する副生成物です。有機塩素化合物の一種で、塩素原子の数と位置により多数の異性体があります。このうち2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラジオキシンの毒性が最も強く、生殖機能への影響、発ガン性や奇形を引き起こすおそれがあることなどが指摘されています。

地下水涵養

雨水などを地下へ染み込ませ地下水の量を豊かにすることです。森林の保全や雨水を浸透させる工夫（透水性舗装、透水管、浸透ますなど）を行うことにより地下水を豊かにすることができます。

低公害車

従来の自動車に比べ大気汚染物質の排出量等が低いなど、環境への負荷が少ない自動車の総称です。主に、ガソリンや軽油にかわる燃料をエネルギーとする自動車のことで、電気自動車、メタノール車、天然ガス車、ハイブリッド車等があります。また、平成 12 年度の排出ガス規制値を 75%低減している超低排出ガス車等も含まれます。

透水性舗装

水の浸透能力のある舗装のことで、普通の舗装より雨水が舗装の表面を流れずに地下へ浸透しやすくなり、雨水の流出抑制や地下水の涵養などの効果があります。

八 行

パークアンドバスライドシステム

目的地まで自家用車を利用して直接行かずに、近くのバス停まで自家用車を利用し、そこからバスに乗り換えて目的地まで行くシステムのことで、一般的には都心への自動車交通の集中を防ぐために利用されています。

ヒートアイランド

都市独特の局地的気候現象で、都心部を中心として局地的に気温が高くなる現象のことをいいます。人口の都市への集中による大気を冷やす森林や畑の減少、エアコンなどの人工的な排熱の増加で、都市部に熱が溜まるために起こります。

副読本

教科書及び準教科書のほかに、これらの補助として使用する教科用図書のことです。

ヤ 行

要請限度

自動車騒音・振動により、道路周辺の生活環境が著しく損なわれていると市町村長が認めるとき、道路管理者に対し自動車騒音・振動の防止のため舗装、維持又は修繕の措置や都道府県公安委員会に対し道路交通法の規定による措置を要請することができますが、その際の基準をいいます。

ラ 行

緑被率

みどりの総量を把握する方法の一つで、航空写真等によって上空から見たときのみどりに覆われている面積の割合のことです。森林・樹林地のほか、草地や農地、公園や道路、学校などの公共施設のみどり、住宅、工場などの私有地のみどり等が含まれます。

緑化基金制度

条例に基づき、必要な資金を積み立てるとともに、緑地の確保や沿道の緑化、緑地の維持管理等への助成など、みどりの保護と育成を行うための制度のことです。